

子どもたちといっしょに

「ぎはなんにもいわないの」

片山 健
(学習研究社)



今の親と子どものつながり。てどうなんだろう？とリわけ、お父さんと子どもって？

世間では、子どもはお母さんの方がお父さんよりも愛情を感じ

あう時間が長いように思われているようですが、そんなことはないと思います。確かに仕事をしていると、子どもたちと遊ぶ時間はあまりないのかもしれませんが、でも、散歩に出かけたり、絵本を読んであげたり、ちょっとした時間でも子どもと一緒にいて、そして、いられるときにはたくさん愛情をあたえて下さい。そうすれば、子どもは両親(家族)から愛されているんだと感じてくれるはずです。

やわらかい水彩の絵はほんわかしていて、思わず「ニョッ」としてしまいうくらい楽しい絵本です。おとうさんはすーくんとただ一緒にいるだけ。ただそれだけ。でも、ただ一緒にいるだけでも子どもは幸せを感じているんだと思わせてくれる。この本はぜひお父さんに読んでもらいたいです。

「おたよりありがとう」

わたしがおもしろかった本は、「ピーナツくんたんじょうび」です。



「くまにはったピアナ」、こわくてかわいそうなお本でした。

「翼のない天使たち」、私は光と主人公の子が



ケンカしたあと、カステラをいっしょにたべる話が大好きです。あと、ホテルをさいげんしようとする話も大好きです。

「ふしぎなナイフ」、ちぎれたりする所がおもしろかった。



みんな、おたよりありがとう。これからも、面白かった本の話、友達にすすめたい本など、聞かせてください。

4月の行事 ブックバス

1 (土)	おはなし会 3:00~		20 (木)	白根北甲 13:10~14:00 大通小 14:30~16:30
5 (水)	絵本のじかん 3:00~		21 (金)	白根小 13:00~13:50 川本小 14:30~15:30
8 (土)	おはなしがご例会 10:00~ おはなし会 3:00~		22 (土)	おはなしがご例会 10:00~ おはなし会 3:00~ 新飯田農公 14:30~15:00 戸石公 15:30~16:00
12 (水)	絵本のじかん 3:00~	新飯田小 12:35~13:20 灰曾根小 13:35~14:35	23 (日)	子ども読書の日 第66回読書会 2:00~
13 (木)		白田中 12:55~13:35 庄瀬地C 14:00~14:40 庄瀬小 15:00~15:45	26 (水)	絵本のじかん 3:00~
14 (金)		白井中 12:55~13:35 白井小 14:00~15:45	27 (木)	
15 (土)		大通地C 14:30~15:00 根岸農公 15:30~16:00	28 (金)	
19 (水)	絵本のじかん 3:00~	根岸小 13:10~13:50 大鷲小 14:30~15:45	29 (土)	おはなし会 3:00~

しろね図書館だより



No. 71

発行 新潟市立白根図書館
平成18年4月1日

道程

高村光太郎

僕の前には道はない
僕の後ろには道は出来る
ああ、自然よ
父よ
僕を一人立ちにさせた広大な父よ
僕から目を離さないで守る事をせよ
常に父の気魄を僕に充たせよ
この遠い道程のため
この遠い道程のため

「高村光太郎詩集」
岩波書店 911-159

新入生、新学年、新社会人、新四月は新しい環境の始まりです。そんな事を考えたら、皆、学校で習った高村光太郎さんの詩が頭をかきまじりました。この詩を読むと、勇気ももらえるような気がします。

3月の

来館者-----15,944人(見学者63人含)
貸出冊数-----15,935冊
予約件数-----275件
ブックバス利用者-----344人
ブックバス貸出冊数-----818冊

リクエスト情報(しばらくお待ち下さい)

- 1位 東京タワー (11名)
- 2位 容疑者Xの献身 (9名)
- 3位 生協の白石さん (6名)
- 4位 白夜行 (5名)
- 5位 あおぞら (4名) 他

しろね図書館職員紹介 「どうぞよろしくお願ひします」

職員に聞いてみました。	館長 坂井治一 (自然科学系の本)	館長補佐 星島等 (「推理小説」)	主査(司書) 内山香 (「こんとあき」)
Q. みなさんの好きな本・ジャンルを教えてください。	清水隆 (「気持ちよく騙(だま)してくれる本」)	司書 中川沙穂里 (「クラブート」)	司書 大野恵子 (「ガブリエル・バンサンの本」)
		司書 小林友治 (「星座図鑑」)	

ななつのこ

加納 朋子 (東京創元社)
(一般 913カ)

本作が扱うのは、日常にちりばめられた謎。主人公・入江駒子の周りで起こるちょっと不思議な事件を、作家の佐伯綾乃が手紙のやり取りの中だけで、鮮やかに解決していきます。事件の背後にはやるせない真実が……というようなことではなく、すっきりと謎を解き明かしたあとには、ちょっぴり温かい気持ちになれるお話です。

この本は7つの連作短編集という体裁ですが、この中に登場する童話集「ななつのこ」は、推理仕立ての作中作。その謎をさらに手紙で解決していくという、ミステリーとしてもたいへんユニークな構成で、もちろん、最後にはあっと驚く真相が待っています。

ミステリーが初めての方には、すべての謎が解き明かされる、その快感を。

ミステリーに飽きてた方には、丁寧で柔らかな筆致で綴られる、新鮮な謎解きを。

どうぞ、ご堪能あれ。



そして誰かが

ミステリーはお好きですか？

魅力的な謎。連続する第2、第3の事件。性格の悪い名探偵。鉄壁のアリバイ。丁々発止のやり取り。あっと驚く真相。それに「カツ丼、食うか……？」

さて、この本はどうでしょう。密室はないし、嵐の山荘に閉じ込められないし、電車を乗り換えたりしないし、刑事も探偵屋も家政婦も湯けむりも出てきません。むしろ、取調室でカツ丼に涙することもありません。

そう、このミステリーでは殺人事件が起きないのです。魅力的な謎と、美しい解決。それさえあれば、ちゃんと面白いミステリーは成り立つのだということを、この物語はそつと教えてくれます。

いつだって、どこでだって、謎はすぐ近くにあったのです。

図書館員がおすすめるこの1冊



小説「ななつのこ」の作中作を、美しい挿絵つきの童話にしたものです。作中作とは少し違い、この本は、お母さんが『ななつのこ』をはやてという男の子に向かって語っていくスタイルで綴られていきます。

—このお話は、おおかさんが大好きな本に載っているのよ。それはね、特別なお本なの。ひらがなと、カタカナと、漢字がすらすら読めるようになったら、きつと読んでみて。もちろん、その本だけじゃなくても他の本もね。たくさん、たくさん、読んでみて。

【本文より】

ななつのこものがたり

加納朋子文 菊池健絵 (東京創元社)
(児童 913カ)

第65回 読書会

平成18年3月19日(日) 5名
午後1時半～3時半

『川をくだる小人たち』
メアリー・ノートン 作

林容吉訳
岩波書店

この本は、先月に続き、シリーズ3作目です。

+++++ 参加者の感想 +++++
『やっぱり今回も一匹狼のスピラーに助けられる。危機一髪をなんとかしてくれる所が頼もしい。今回は危ない場面も心のどこかでスピラーの登場を期待しつつ安心して読めた。』
『ホミリー(母)が、だんだん野(外)の世界での生活や、川での生活に順応していく姿がおもしろい。』

『床下の家族(ポッド・ホミリー・アリエッティ)は、いつかの家族の所に一時お世話になったけど、その後いつかの家族がどうなったのだろう。』

『スピラーのようについに借り暮らしではなく、ひとり暮らしを好む小人もいる。いとこのエクルティナもそのひとり。その部分を読んだ時、アリエッティもひとり暮らしを好む小人だと思った。』

『川をくだる小人たち』
メアリー・ノートン 作
林容吉訳
岩波書店

『前作に比べ旅をするという点について、リアル感があつたと思う。シリーズの作品は、巻ごとでおもしろさが違い、登場人物の成長などいろいろ楽しめる所があるのでおもしろい。』
『お母さんが借り手として一流。物が豊かであるという事で周りから認められていた。確かにポッドはどんな時も冷静な判断で家族を守るすばらしい父という印象だった。』

『いつかは安心して暮らせる家にとどり着ける日が来るだろう』と読みながら思っていました。』

(大野恵子)

第66回 読書会

『空をとぶ小人たち』
メアリー・ノートン 作
林容吉訳
(岩波書店)



とき 4月23日(日)2時から3時半
ところ 白根学習館ルーム1

『前回、やかんに乗って川を下り、いろんな冒険をしたアリエッティたちでしたが、ついに念願の模型村へとたどり着きます。この作品では模型村製作者ポッド氏の協力者ミス・メンクスがいると小人たちに協力してくれます。やっと落ち着いたかと思うのもつかの間、別の模型村製作者ブラター夫妻が金儲けをたくらみ、小人たちをさらいます。そこからまた、新たな旅の始まりです。』

『しるね図書館友の会・しるね図書館 共催
カウンターで本をご用意しておりますので、参加ご希望の方はお申し出ください。』
『どうぞお楽しみに。』